



▲ネロリの島のレモンエッセンスオイルを使用したユニセックスフレグランス「Charme de Citron」。オイル抽出には水蒸気蒸留法を採用しており、日光に当たることで皮膚のトラブルが起りやすくなる光毒性が発生しないため、日常使いにぴったり。レモンのさわやかな香りが長時間持続するのも魅力だ

▼柑橘類は減農薬、手作業で皮をむく。「柑橘の価値があがることで若い世代～シニアまで農家がきちんと生活できるようになる」と望月さん



#### 株式会社H・R

広島県広島市中区八丁堀12-3 キタヤマビル4F  
TEL 082-222-1344  
<事業内容>商品開発事業支援・各種コンサルティング・香料、天然精油、食品用基材の製造、輸出入及び販売など  
<https://www.hr-info.net/>

## 逆転の発想から生まれた 高品質の天然レモンアロマオイル

株式会社H・R  
（広島県広島市）

**ふるさと名品オブ・ザ・イヤーとは**  
内閣府、農林水産省、経済産業省後援のもと、民間企業などが独自の切り口による部門提供者として推進し、地域の名品とそれを支えるストーリーを応援する表彰制度。この制度においてリクルートジョブズは、「地方創生を担う働き手を確保するには、主婦やシニアなどの多様な方が働ける環境をつくる」ことが重要」との考えから、「主婦やシニアの方の活躍創出部門」を提供。2018年度にエントリーいただいた、地方創生に貢献する全国各地9事業者の人名・品取り組みについてご紹介します。



▲株式会社H・R代表取締役、望月真弓さん。「春には大崎下島の島中に甘夏の花の香りが立ち込めるんですよ」。地中海沿岸では、柑橘の花から「ネロリ」というオイルがつくられることから、オープンした施設を「ネロリの島」と名付けた。島ではオイルの蒸留体験など「体験型ワークショップ」を開催し、観光事業にも力を入れている

**高いコンサルティング力を生かし、地元農家を支える**  
コンサルティング事業を主に展開してきた株式会社H・R。自社で商品開発などを手掛ける「ネロリの島Cafe」事業は初の試みです。ラボ（加工場）がある大崎下島の人口が約2000人。望月さんはこの状況から「まずは地元の農家を支え、地場産産を活性化させることが必要」と考え本領発揮。果汁を絞った残渣（柑橘の皮など、絞った後に残ったもの）でアロマオイルを精製する製法を変え、皮をむきオイルの原料を取った後、中の果肉を食品加工会社に販売。分解して必要な部分が必要なところに売ることによって価格をアップし、レモン1個の価値を高めたのです。

**主婦、障がい者、若い農家など人材はフレキシブルに雇用**  
柑橘の皮むきには地元の障がい者支援施設から人材を派遣してもらい、また広島の本社では主婦も働くなど幅広い人材の雇用を積極的にこなしている望月さん。収入が安定しにくい若い農家を、夕方からアルバイトとして雇うこともしているのだそう。三人の子どもを持つ井手本幸恵さんは、事務として週三回本場で働く主婦。「月二回程度、大崎下島で皮むきなどもしていて、それも楽しいです。以前からアロマオイルに興味があったので、今の仕事はそういう意味でも願ったり叶ったりですね」と話してくれました。

リクルートジョブズのサイトにて詳細をご紹介します。 <https://www.recruitjobs.co.jp/furusato/>

